安東伸昭

境づくり。

Ċ

機器の活用や

城石垣、

熊本城石垣、

金沢

る城郭の石垣は、

日本を代表す

垣である。

3市の

が落ち着いて学習

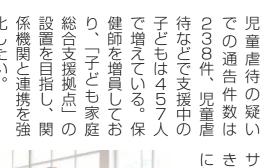
师妹都市縁組

世界遺産

に取り組む学習環

保育士不足で一時預かり保育がストップ!

係機関と連携を強 設置を目指 総合支援拠点」 健師を増員してお で増えている。保 子どもは457 待などで支援中の 「子ども家庭 \bigcirc





子育てのきめ細かな支援を

子どもの養育

要な家庭に、

育所では、

今年度



緑風会 秋久憲司

保育士不足

河川の樹木が

の設置業者と協

今後、

障害

清流の会

近藤吉一郎

について支援が必 きめ 高い一時預かり保 間 親のニーズが すべきでは。 人材を確保し実施 ていない。 育サービスが保育 士不足で実施され みどりの丘保 早急に

保育士不足となり を見送っている。 け入れているため も多くの幼児を受 に努める。 きるよう人員確保 サービスが開始で ビス

きではないか。 を早急に検討すべ 庭総合支援拠点_ 応じる「子ども家 細かい相談などに

昨年度、

市に

市民と歩む会 村田隆男



河川の樹木伐採(浚渫)は急務

障がい者自家用車給油券助成実施

対策で自家用自動 障害者対策 福祉・障害者

できないか。 も助成券の利用が セルフスタンドで ンスタンド **関は市内でガソリ** 卑給油券の助成制 セルフスタン のみ。

第、

セルフスタン

きる体制が整い次 のある方が利用で

組み、 確保に努めたい 業」で伐採に取り とリフレッシュ事 市は県と「ふるさ も増えている。 水時に危険では。 大きくなって本数 が多いと認識し、 自生する樹木 河川環境の

制度を実施する

の給油券の助成

問 空き家の活用 空き家対策

厕獸被害対策

めるのか。 について

どう進

では。 月末の締め切りで 業申請は、 策事業補助金の事 はなく延長すべき 鳥獣害防止対 毎年3

の対応となるが

については、

複数の窓口で

金は、 請期間等を検討 など防護柵の補助 電気柵、 効果的な申 金網

今後の空き家対策は

強化しながら対応

していく。

関係部署と連携を 等の課題を整理し

問 指定管理が終 以降のグラスハウ スのあり方につい 了する平成32年度 て市長の考えは。 人を超える利用者 年間延べ12万

> 【その他の質 ▼認知症対策と見 守り体制につい [問項目]

7

13



たくさんの来場者で賑わうグラスハウス

کے を心豊かに切り拓 命は①自らの将来 について、所信は。 く人材を育てるこ ②ふるさと津 学校教育の使

基盤は、「学力」「体使命達成のための 点をおき、取り組 る。基盤である「学 精神」「規範意識」 社会に貢献できる 山を愛し、地域や つのポイントに重 の課題であり、 「思いやり」であ カ」「チャレンジ 人材を育てること の低迷が最大 ①子どもたち 3

表明及び補正予 谷口市長の所信 算案に関する事

【その他の質問項目】

有本明彦津山市教育長の所信表明

を図り、 の充実に向けた取 の生活習慣の改善 を推進する。 り組みを進める。 より、子どもたち によるわかる授業 中学校の連携 地域の連携に 家庭学習 ③ 家

教育への取り組み

有本教育長の



学校教育の取り組みに期待!

官民を問わない継

1分前着席

9市1町と縁組を

交わしている。新

となれば先方の意 たな縁組を交わす

熊本市、金沢市と石垣姉妹都市縁組を

市との姉妹都市縁

は

沖縄県宮古島

の見解は。

現 在、

本市で

石垣姉妹都市縁組

を提案するが市長



清流の会 津本憲-

【その他の質問項目】 ◆津山の現在と将 来の経済



になるものと考え続的な交流が前提 組をはじめとして 向も踏まえた上で. いうユネスコの原追従は認めないと 市と3市で石垣を な り 八 則もあるため、 代表として登録さ ţ 世界遺産にエント 内での類似物件の れており、 いものと認識して 姫路城がその お城について しては。 同田 ルが高 か 石垣で姉妹都市縁組を

解は。

状況と教育長の見 の本市の取り組み 徳」として位置付 で「特別の教科道

学習指導要領

けられた道徳教育



津山市の道徳教育、教育長の見解は

用して、 換を図ってい 深めるよう質的転 考え、その自覚を れまで以上に深く 育成を目指し、 徳的な判断力、 い く。 間の授業を行って ら教科用図書を使 めの意欲や態度の 行為を行うた 子供達の道 年間35時 2 心

【その他の質問項目】 ◆市長の所信表明



竹内邦彦

により、 来を、自らが心豊 の授業を大切に 員時代より、 地域に貢献・ かに切り拓き、 も、道徳教育を更 てきた。これから 山を誇りに思い に充実させること (教育長) 自らの将 道徳 は教 津

できる人材を育て ていきたいと考え 活躍

ている。 毎年1 る。今後のあり方 否両論があり、 続については、 る財政負担を伴っ あると認識してい 市の重要な課題で 設である一方で、 の方々の憩いの施 億円を超え があり、本施設の存

岐にわたる空き家

検討

していく。

計画に基づき、

多

ているが、

及び空き家等対策 特別措置法、条例 今年度より、

中学

小学校では

校は平成31年度か